

東方学術特別顕彰 授賞理由

受賞者 渡邊 寶陽

立正大学名誉大学教授

前田専學（東方研究会理事長）

2010年10月10日インド大使館

渡邊寶陽博士は、昭和八（一九三三）年のお生まれで、昭和三十年に立正大学をご卒業されました。同大学大学院に進まれ、昭和三十二年、文学修士、さらに、昭和五十五年、文学博士の学位を得られました。また立正大学の助手、助教授、教授、仏教学部宗学科主任、仏教学部長、学長の要職を歴任され、現在は同大学名誉教授であります。

渡邊博士の主著は、一九七六年に出版された『日蓮宗信行論の研究』（平楽寺書店）と二〇〇三年に出版された『日蓮仏教論—その基調をなすもの』（春秋社）とであると思います。

『日蓮宗信行論の研究』は、五章からなり、第一章では、日蓮の謗法論に新しい光を当て、日蓮の内面的信仰構造などを解明。第二章では、日蓮以後、七百年余にわたる門下の「法華経講述」を展望。第三章では、日蓮滅後、『立正安国論』を用いるよう権力者に諫暁（かんぎょう）する宗門の伝統から、天台談所での学業研鑽などと相俟って、次第に平和時の教団態勢に変化する過程を解明。第四章では、江戸時代に入って、時代状況に合わせた、いわば「内観」を尊重する教学組織再編成の様相を考察。第五章では、江戸時代末期、前田藩の金沢・立像寺境内での私塾活動によって、後に大きな影響を与えた日輝の主著『一念三千論』を中心にしつつ、その教学的視点の基礎に迫ろうとされたものです。付編として「日蓮宗法華経研究書一覧」が収められています。

渡邊博士は、その後の論攷をまとめて、『日蓮仏教論』（春秋社）を出版されました。本書の書名を『日蓮教学研究』としないで、敢えて『日蓮仏教論』とし、教学史研究から日蓮の研究に移行し、日本仏教史との関わりという新たな視点からの、斬新な日蓮の教学思想の脱宗学的研究を意欲的に試みられています。

第一章では、当時の謗法による墮地獄の恐怖からの脱却が日蓮初期の活動の源泉にあったことを解明。第二章では、社会構造に模して釈尊を讃仰する「主師親三徳論」の意義の再認識、「法華経行者意識」から「法華経の地涌菩薩自覚」へ

の展開についての再確認などを論究。第三章では、「日蓮における釈尊帰命」のイメージを検証し、第四章では、教学の中枢をなす「事一念三千論」をめぐる考察を加えられ、第五章では、天台大師智顛が既に注目している「変毒為薬」という論理を通して、日蓮が末法衆生救済を「一念三千佛種」に求めた構造が模索されています。なお付論として興味深い「日蓮佛教をめぐる諸問題」四篇が収められています。

渡邊博士の日蓮研究に対する顕著な功績はこれに尽きるものではありません。第二次大戦後、日蓮教学界では、諸種の重要な編集事業が行われましたが、渡邊博士はそれらの事業に積極的に参加され目覚ましい貢献をされました。すなわち日蓮研究の基礎文献である『昭和定本日蓮聖人遺文』全四巻（立正大学日蓮教学研究）のうち最後の第四巻の編纂に参加され、特に「索引」の作成にあたられました。その後、『日蓮宗宗学全書』一九巻～二三巻までの増補編集（山喜房仏書林）、『日蓮宗事典』（日蓮宗）の編集、さらに日蓮教学研究所が企図した『日蓮聖人遺文辞典（歴史篇）』『日蓮聖人遺文（教学篇）』（身延山久遠寺発行）についても、重要な貢献をされました。

渡邊博士は、国際的にも活躍されており、一九八五年八月ハワイ大学で開催された「国際法華経学会」に参加し、さらに第二回・第四回の「国際法華経学会」を立正大学に招致されました。この間、Prof. Jacqueline Stone (Princeton Univ.)、Prof. Yoichi Aizawa (Colgate Univ.)、Associate Prof. Lucia Dora Dolice (Univ. of London)らが、若い時代に立正大学で研究に従事しましたが、かれらに大きな刺激を与えられました。また、日蓮の『立正安国論』研究のために立正大学日蓮教学研究所に来られた故 Prof. Emeritus Nathal Tatia (Nava Nalanda Mahavihara)を指導されました。

以上みたように、渡邊博士は、主として日蓮研究という分野で、きわめて積極的に着実に活動されており、その斯学に対するご貢献は顕著なものがあり、すでに一九七六年には望月学術賞、二〇〇七年には日蓮宗総合財団賞を受賞されています。しかも最近は欧文で論文を発表し、日本から日本佛教研究の成果を発信することに精力的に取り組んでおられます。そのみならず、渡邊博士がこれまでに財団法人東方研究会ならびに東方学院に対してなされた力強い、しかも隠れたご支援は特筆すべきものがあり、審査委員会では、東方学術特別顕彰に相応しいものと判断し、今回の授賞となった次第であります。